人類の叡知の結晶 文学、言語、芸術全般に挑む

文学研究科

募集人数		
修士課程	英文学専攻	： 6名
博士前期課程	国文学専攻	：10名
	美術史学専攻	： 6名
博士後期課程	国文学専攻	： 3名
	美術史学専攻	： 2名

研究科の概要

日本、東洋、西洋各地域の文学、言語、美術の各分野における研究に取り組みます。

国文学専攻
［ 博士前期課程・博士後期課程 ］

上代から現代に至る日本文学、日本語学、日本語教育、中国文学（漢文学）の科目を開設。幅広い分野の専任教員から、適切な指導を受けることができます。成蹊大学大学院・中央大学大学院・青山学院大学大学院・國學院大學大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があり、大学の枠組みを超えた交流が可能です。

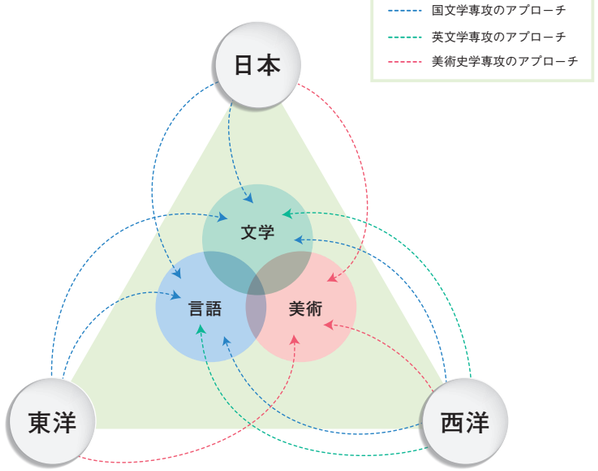
英文学専攻
［ 修士課程 ］

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象を中心に深く学ぶとともに、より広範な文化事象などの関連分野についても学ぶ機会を設けることにより、豊かな人間性を涵養し、社会の様々な分野で活躍するための能力を育むことができるようにカリキュラムを編成しています。また、中央大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

美術史学専攻
［ 博士前期課程・博士後期課程 ］

日本美術史、日本近代美術史、仏教美術史、西洋美術史、西洋近代美術史、現代美術史、芸術学、民俗芸能の専任教員のもとに、専門的な研究を深めます。実作品の調査を重視し、実証的な研究方法を身につけます。また、隣接領域を学びつつ、異なる関心を持つ学生同士が切磋琢磨できる環境も特徴です。青山学院大学大学院・聖心女子大学大学院との単位互換制度があります。

研究領域の概念図



大学院での高度な研究を支える図書館

和書、洋書、雑誌及び雑誌バックナンバー等、豊富なコレクションを所蔵。
更に電子ブックや電子ジャーナル、国内外の文献調査に有用なデータベースを数多く提供、文献管理ツール（RefWorks）の導入など、大学院生の研究活動を支える充実した図書館です。

養成する人材像

国文学専攻

国際的に活躍できる高度専門職業人として。研究者として。

高度な学識と研究能力を生かして、社会の各分野で指導的役割を果たすことのできる人材を育てます。また、研究者として自立できるだけの実力を育みます。

キャリアパス 〈 修了後の進路イメージ 〉

中学・高校教員（国語科）／日本語教師（大学、日本語学校等）／研究職（大学、文化財行政等）／公務員（司書等）／一般企業（事務職等）／進学　等

英文学専攻

英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象について深く理解する人材の育成。

高度な英語運用能力と、英語圏文学・文化、言語学、ジェンダー表象についての広い学識を身につけた研究者、中学校・高等学校教諭（英語）のほか、広く海外で活躍できる人材を育てます。

キャリアパス 〈 修了後の進路イメージ 〉

中学・高校教員（英語）／大学専任・非常勤講師（英語・英米文学文化・言語学）／情報通信業（技術職）／教育・学校支援業／サービス業（文化団体）／翻訳業／進学　等

美術史学専攻

高度な専門性と実践的能力によって社会に貢献する人材。

研究を通して身につけた専門知識、調査能力、表現力を活かし、美術館、博物館をはじめ、公的機関、企業において、多様な文化・芸術を広く社会に伝えうる人材を育てます。

キャリアパス 〈 修了後の進路イメージ 〉

学芸員（博物館、美術館等）／研究職（大学、文化財行政等）／博物館・美術館・展覧会の運営に関わる職／一般企業（販売職、事務職等）／進学　等

※各免許・資格は本学大学院修了と同時に取得または受験資格を得られるものではありません。

文学研究科

国文学専攻

※2026年4月時点での情報となります。（定年退職などの退職予定者含む）

専任教員プロフィール

池田 三枝子
専門分野：万葉集を中心とする上代文学
最近の研究テーマ等：「文学圏」「歌壇」等と称される人的ネットワークと、それを基盤として醸成される歌表現についての研究

大橋 直義
専門分野：中世日本文学・宗教文献学・宗教文化史学
最近の研究テーマ等：寺社縁起（絵巻・掛幅縁起絵・参詣曼荼羅）および寺誌、軍記物語・私撰国史・歴史物語・系図・血脈など、日本中世の歴史叙述とその書物についての研究。巡礼・参詣の史的研究。地域史研究と文化財（殊に古典籍・聖教）研究の架橋

齋藤 樹里
専門分野：日本近現代文学
最近の研究テーマ等：①太宰治、斎藤緑雨を中心とした、日本近現代文学の中の〈芝居〉の引用に関する研究、②日本近現代文学の中の韓国語表象に関する研究

田中 靖彦
専門分野：漢文学、中国史学史
最近の研究テーマ等：①中国における三国時代・三国人物像の変遷、②宋代における正統論の展開と三国論

福嶋 健伸
専門分野：日本語学、主に文法
最近の研究テーマ等：日本語のテンス・アスペクト・モダリティの変遷に関する研究

舟見 一哉
専門分野：和歌文学、中古文学、書誌学、文献学
最近の研究テーマ等：中古中世における古典学の総体解明。とくに古典籍・古筆切を利用し、六条藤家の古典学、古今集注釈史を対象とする（2026 年度長期研修）

ブルナ ルカーシュ
専門分野：日本近代文学、比較文学、翻訳研究
最近の研究テーマ等：外国文学、ことにロシア文学が日本の近代作家に与えた影響、明治・大正期の翻訳文学の研究。また、日本におけるチェコ文学の受容、チェコ文学にみられるジャポニズムの表象などを研究

山内 博之
専門分野：日本語教育
最近の研究テーマ等：①日本語教育における語彙シラバスの作成に関する研究　②日本語教育文法に関する研究　③日本語教育スタンダードに関する研究

山田 里奈
専門分野：日本語学
最近の研究テーマ等：近世後期江戸語から明治期東京語における待遇表現の変遷。当期の丁寧な言葉遣いに関する研究。

カリキュラム

博士前期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学研究A・B	選択各２単位
上代文学演習A・B	選択各２単位
中古文学研究A・B	選択各２単位
中古文学演習A・B	選択各２単位
中世文学研究A・B	選択各２単位
中世文学演習A・B	選択各２単位
近世文学研究A・B	選択各２単位
近世文学演習A・B	選択各２単位
近代文学研究A・B	選択各２単位
近代文学演習A・B	選択各２単位
日本語学研究A・B	選択各２単位
日本語学演習A・B	選択各２単位
日本語教育研究A・B	選択各２単位
日本語教育演習A・B	選択各２単位
漢文学研究A・B	選択各２単位
中国文学演習A・B	選択各２単位
日本語日本文学研究A・B・C・D・E・F	選択各２単位
日本語日本文学演習A・B・C・D・E・F	選択各２単位
特別研究A・B	選択各２単位

博士後期課程 カリキュラム

科目名	単位数
上代文学特殊演習A・B	選択各２単位
中古文学特殊演習A・B	選択各２単位
中世文学特殊演習A・B	選択各２単位
近世文学特殊演習A・B	選択各２単位
近現代文学特殊演習A・B	選択各２単位
日本語学特殊演習A・B	選択各２単位
日本語教育学特殊演習A・B	選択各２単位
中国文学特殊演習A・B	選択各２単位
日本語学特別研究A・B	選択各２単位
日本文学特別研究A・B	選択各２単位

科目紹介［一部抜粋］

上代文学演習 A・B
A・Bを通して上代文学研究の基礎を身につけることを目的とする。Aでは研究史の把握と用例の博捜に努め、訓読・解釈を決定する力を養う。Bでは更に歴史学・考古学・民俗学等の研究を踏まえ、研究論文を作成する力を身につける。

近代文学研究 A・B
この授業では、国文学専攻の学生の専門分野にあわせて、様々なテキストや映像を教材として活用しながら、研究に必要な英語スキルを鍛えることを目的とする。

日本語学研究 A・B
A・Bを通し、修士論文執筆計画を立て、修士論文の最も中心となる部分に磨きをかける。具体的には、研究発表をし、その後、投稿論文に仕上げるという作業を行う。実際に、研究会で発表し、学術雑誌（『実践国文学』等）に投稿してもらうことが本授業の特徴である。

漢文学研究 A・B
中国の歴史と歴史観について講義する。中国の歴史の概説を学ぶのと並行して、中国における歴史書の筆法や、正統論の概念について検討する。

中世文学研究A・B
書物（古典籍・寺院経蔵文献）に軸足を置いた文化財の俯瞰的研究。ある寺社に蔵される書物のみならず、当該地域に所在する文化財を俯瞰的に見わたす方法を具体的に学ぶ。その過程において、寺院経蔵調査・実地的文化財調査を含む学術的アプローチに習熟する。

日本語学演習 A・B
Aで室町時代の話し言葉がわかる資料、Bで近世後期江戸の話し言葉がわかる資料を用い、日本語について共時的・通時的に学ぶ。国立国語研究所の日本語歴史コーパス（CHJ）等も用いながら、具体的な用例を見て分析・考察する力を養う。

日本語教育演習 A・B
Aで類似表現研究の方法を体得し、Bで類似表現の使い分けに関する指導書を作成する。日本語教師が参考にできる指導書にすることを考え、内容の確かさと文章のわかりやすさが両立した原稿の作成を試みる。

日本語日本文学演習 A・B
A・Bを通して近現代文学の中で著名な「文学論争」を一つ取り上げ、言語の応酬の中からみられる作家や批評家それぞれの文学観・芸術観の対立やその文学史的意義について検討・討論する。一次資料を精査しつつ論争の言説を丁寧に読み解くことで、日本文学がいかなる問題意識の元で形成されていったのかを考察する。

文学研究科

英文学専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

稲垣 伸一
専門分野：19 世紀アメリカ文学・文化
最近の研究テーマ等：19 世紀アメリカの文化（宗教・社会改革運動・科学思想など）と同時代の文学作品との相互関係

猪熊 作巳
専門分野：生成文法理論・言語の生物学的基盤
最近の研究テーマ等：名詞句の内部構造と意味解釈・進化的に見た言語理論の最適性

佐々木 真理
専門分野：19〜20 世紀のアメリカ文学
最近の研究テーマ等：19 世紀後半から 20 世紀前半にかけての女性文学と時代変容の関係性

志渡岡 理恵
専門分野：18 〜 20 世紀イギリスの女性作家
最近の研究テーマ等：女性の旅行記・冒険小説と帝国主義の関係、少女文化と教育機関の関係

島 高行
専門分野：近代イギリス小説
最近の研究テーマ等：探偵小説とゴシック小説の関係性

諏訪 友亮
専門分野：近代アイルランド文学・文化と英語圏詩
最近の研究テーマ等：アイルランド文学における近代的諸概念とファシズムの関係、世界文学としての英語圏詩

土屋 結城
専門分野：19 世紀イギリス小説
最近の研究テーマ等：トマス・ハーディを中心とする 19 世紀イギリス小説に描かれる共同体と個人の関係

難波 雅紀
専門分野：17〜19 世紀アメリカ文学・文化、特にニューイングランド・ピューリタニズム文学
最近の研究テーマ等：ピューリタニズムの宗教言説とアメリカン・アイデンティティとの関連性

深瀬 有希子
専門分野：現代アメリカ文学・文化
最近の研究テーマ等：おもにアフリカ系アメリカ文学・文化作品を対象とした、人種・民族・ジェンダーのパフォーマティヴィティの考察

村上 まどか
専門分野：英語の動詞に関する統語論・生成文法
最近の研究テーマ等：英語の仮定法・命令法、文否定辞not、それらを敷衍して欧州諸語の動詞移動

柳田 亮吾
専門分野：社会言語学、語用論、(批判的) 談話研究
最近の研究テーマ等：政治、ジェンダーとイン／ポライトネス

カリキュラム

修士課程 カリキュラム

科目名	単位数
英語圏文学・文化研究A・B・C・D	選択各2単位
英語圏文学・文化研究演習A・B・C・D	選択各2単位
言語学研究A・B・C・D	選択各2単位
言語学研究演習A・B・C・D	選択各2単位
ジェンダー表象研究A・B・C・D	選択各2単位
ジェンダー表象研究演習A・B・C・D	選択各2単位
言語と文化A・B	選択各2単位
言語と文化研究A・B	選択各2単位
専門演習	必修4単位

科目紹介 [一部抜粋]

英語圏文学・文化を探求する科目

英語圏文学・文化研究 A
Nathaniel Hawthorne の *The Scarlet Letter* を精読する。第一に、できるだけ英語を正確に読むこと、第二に、舞台となる場所についての理解を深めながら、各自が主体的に本作品に対するアプローチを見いだしていくことをこの授業の目的とする。

英語圏文学・文化研究演習 B
アーサー・コナン・ドイル『シャーロック・ホームズの回想』からいくつかの作品を精読し、関連した英語論文も検討することで、文学理論を実際に使い、テクストの理解を深める。近代イギリス社会の諸相が、上記の作品においてどのように表現されているのか批判的に検証し、現代における意義を明らかにする。

ジェンダー表象を探求する科目

ジェンダー表象研究 A
本授業では、1993 年にノーベル文学賞を受賞した Toni Morrison の 第二作目の小説 *Sula* (1973) を精読する。アフリカン・アメリカンが 1920 年代から 1960 年代に至るまでに経験した社会的状況をふまえながら、個人と共同体の関係やアイデンティティの構築性について考察する。特にレズビアニズムの表象が、アフリカ系アメリカ文学に特有のヴァナキュラーの伝統といかに関わっているのかを分析する。

ジェンダー表象研究演習 B
19 世紀に活躍した女性作家シャーロット・ブロンテの代表作 *Jane Eyre* (1847) の Volume3 及び批評を読む。Volume3 は、ソーンフィールド・ホールを出てからのジェインの生活がプロットの中心となる。特に物語を醸しているロチェスターの呼び声が聞こえる場面を中心に精読し、映像とも比較しながら考察を深めたい。

言語を探求する科目

言語学研究 A
本授業では社会言語学・語用論・談話分析と深く関連する批判的談話分析 (Critical Discourse Analysis) の基礎を学び、ことばに起因する社会の問題について批判的に分析・考察することを目的とする。授業は主に英語で書かれた教科書を輪読していく形で進める。授業の最後には社会で実際に用いられていることばを取集し、談話分析を行い、その結果を発表する機会を設ける。

言語学研究演習 C
Noam Chomsky, *What Kind of Creatures Are We?* (Columbia University Press, 2015) を読む。高度に学術的・抽象的な議論を読み解き、歴史的背景に照らしながらその言語観を検討・評価する。

言語と文化を多角的な視点から探求する科目

言語と文化 A
19 世紀初めの Maria Edgeworth から 20 世紀後半の Eavan Boland まで、近現代アイルランド文学・文化のキーテクストを概観する。アイルランドのナショナリズム、プロヴィンシャリズム／ローカリズムをテーマとする一通りのテクストを読むことで、ポストコロニアル地域であるアイルランドで争点となってきたテーマを理解することを目的とする。

文学研究科

美術史学専攻

※2026年4月時点での情報となります。(定年退職などの退職予定者含む)

専任教員プロフィール

串田 紀代美
専門分野：近現代芸能史 (民俗芸能)、文化資源学、日本語教育
最近の研究テーマ等：占領期アーニー・パイル劇場における舞台演出に関する研究、ダンス・アーカイブの構築、伝統音楽・芸能によるアートマネジメント人材育成、アカデミック・リテラシーの教授法・教材開発

児島 薫
専門分野：日本近代美術史
最近の研究テーマ等：日本近代美術における女性像についてのジェンダー論、ポスト・コロニアリズムの観点からの分析および東アジア美術との比較、女性画家について

駒田 亜紀子
専門分野：西洋中世美術史
最近の研究テーマ等：①中世後期における托鉢修道会の展開と彩飾写本のレパートリーの変容、②中世後期におけるラテン語および俗語による聖書系写本彩飾の展開

齋藤 達也
専門分野：西洋近代美術史
最近の研究テーマ等：①19 世紀フランスの美術批評、②西洋における日本美術の受容 (ジャポニスム)、③印象派の芸術

椎原 伸博
専門分野：美学・芸術学
最近の研究テーマ等：①現代芸術論、②スペイン市民戦争の写真、③オペラ研究、④アートマネジメントの理論的研究

馬渕 美帆
専門分野：日本中・近世絵画史
最近の研究テーマ等：江戸時代絵画と俳諧文化の関わり、18 世紀京都画壇の画家たち、英一蝶作品の評価と受容

武笠 朗
専門分野：日本彫刻史
最近の研究テーマ等：平安後期における和様彫刻の成立と展開、後白河上皇と蓮華王院造像、浄土の造形、円派仏師研究

山本 浩貴
専門分野：現代美術史、文化研究
最近の研究テーマ等：①2000 年代以降の日本における地域芸術祭、②エスニック・マイノリティの芸術、③現代アートにおけるジェンダーとエコロジーの問題

カリキュラム

博士前期課程 カリキュラム

科目名	単位数
日本美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
日本近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
仏教美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
西洋近代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
現代美術史特論A・B・C・D	選択各2単位
芸術学特論A・B・C・D	選択各2単位
民俗芸能特論A・B・C・D	選択各2単位
日本美術史演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史演習A・B	選択各2単位
仏教美術史演習A・B	選択各2単位
西洋美術史演習A・B	選択各2単位
西洋近代美術史演習A・B	選択各2単位
現代美術史演習A・B	選択各2単位
芸術学演習A・B	選択各2単位
民俗芸能演習A・B	選択各2単位
総合演習	選択2単位
特殊研究A・B・C・D	選択各2単位
特殊演習A・B・C・D	選択各2単位

博士後期課程 カリキュラム

科目名	単位数
日本美術史特殊研究A・B	選択各2単位
日本近代美術史特殊研究A・B	選択各2単位
仏教美術史特殊研究A・B	選択各2単位
西洋美術史特殊研究A・B	選択各2単位
西洋近代美術史特殊研究A・B	選択各2単位
芸術学特殊研究A・B	選択各2単位
日本美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
日本近代美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
仏教美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
西洋美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
西洋近代美術史研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
芸術学研究指導特殊演習A・B	選択各2単位
研究方法特殊研究	選択2単位

科目紹介 [一部抜粋]

日本美術史特論 A
江戸時代の絵画をめぐる諸問題について論じる。具体的な作品を取り上げ、画面の分析や文献資料の読解等に基づき、その特色を検証する。それを通じて、美術史学の方法論への理解を深める。

日本近代美術史特論 A
東アジアの美術と日本近代美術との関わりについて考察し、幅広い視野のもとに日本美術をとらえなおす。適宜、開催中の展覧会を見学し、作品研究を深める。

仏教美術史特論 A・B
日本・東洋の仏教美術史及び彫刻史の諸問題を検討する。さまざまな方法論を理解し、作品に対するアプローチの仕方を知ることを到達目標とする。

西洋美術史特論 A・B
Aでは、西洋美術における歴史画および静物画・寓意画をめぐる問題について、Bでは、西洋美術における図像分析と図像プログラム、そしてこれに関わる作品受容について考える。

西洋近代美術史特論 A・B
西洋近代美術への様々なアプローチを学ぶ。日本語と英語による研究文献の読解を通じて、知識の幅を広げながら、研究手法と論文執筆方法を修得する。

現代美術史特論 A・B
主に戦後から現在にかけてのグローバルな現代美術の通史を概観する。また、現代美術の歴史を理解するうえで不可欠な理論を修め、論文を執筆するための基礎を構築する。

芸術学特論 A
アートの領域の広がりを、文化政策、アートマーケット、社会からのニーズ等から考察し、それらが私たちの人生・生活を創造的に組み直すツールであることを確認する。

民俗芸能特論 C・D
国際日本研究の立場から、所与のものとされている「日本」の文化事象について批判的に考察し、自己と他者の視点から理解を深める。民俗学・民俗芸能を起点としながら、歴史学、文化人類学、音楽学、舞踊学など領域横断的な視座と文化研究の手法を構築し、各自の研究テーマに繋げる。

仏教美術史演習 A・B
Aでは、古記録・古文書の読み方などを、Bでは関連諸学との関わり、経典等仏教文献の読み方、作品の実地調査・見学の仕方、作品の調書の書き方などを身につける。

西洋美術史演習 A
西洋美術史研究の基礎的方法論と、対象に適した調査・研究方法を実践的に学ぶ。各自の研究テーマに沿って、資料収集・調査、資料・史料の解析・読解等を段階的に修得する。

西洋近代美術史演習 A・B
西洋近代美術を対象とする研究方法を、各自の関心のある具体的なテーマに即して学ぶ。専門的な文献の探索手段、オンライン・リソースの活用法、作品分析と論述の技術などを身につけることで、独自性のある研究を発展させる。

総合演習
修士論文執筆予定者が、各自の研究の成果を持ち寄り、口頭発表を行う。また、すべての分野の教員・院生が参加し、相互に討論検討する。自らの研究状況を確認するとともに、他分野の視線によって、新たな問題点を見いだし、研究内容をさらに深化発展させる。

日本美術史特殊研究 A
受講者の研究テーマに即した内容で実施する。各受講者の研究テーマに関わる文献資料を読解しつつ、研究上の課題の整理と解決を目指す。状況に応じて、関連する展覧会見学や作品調査を行い、研究を深める。

日本近代美術史研究指導特殊演習A
日本近代美術に関しては作品、資料、文献に数多く接することができるので、それらを整理しながら批判的に読み解くことを学ぶ。主体的に研究する姿勢を身につけていけるよう、実際の論文執筆を個人指導する。

芸術学研究指導特殊演習 A
「都市の美学」という問題意識にたち、その都市形成の歴史を踏まえた上で、そこで開花したさまざまな芸術活動を分析し、その都市が有する独特の美意識について検討する。